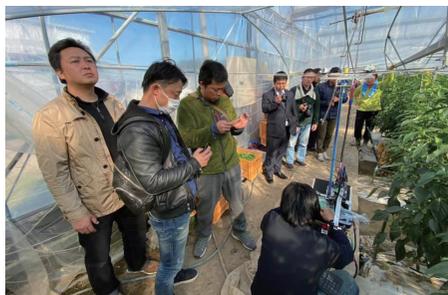


農作物の自動収穫ロボット開発運用における実証実験

私たちは、農業の高齢化や担い手不足に伴う人手不足という課題を解決するため、AIを活用した農産物の自動収穫ロボットを開発し、農家にレンタルをします。そして、これまでのきつい・儲からない農業から、楽しい・儲かる農業へ変え、地域の産業振興と次世代の育成に繋がります。

【構想図】



■人手不足の問題

- ・反収を最大化できない
- ・規模を拡大できない

儲からない=産業衰退



■人手不足の解決

- ・作業の省力化・効率化
- ・病気の早期発見

儲かる=持続可能な農業

農業所得を向上する
具体的なアクション

- 地域の栽培環境に適したピーマン収穫ロボットの開発運用テスト
- AIによる病気発生の予測と収量最適化（データ蓄積と分析予測）
- 収穫ロボットと人が協働するのに最適な栽培環境の構築検証

<プロジェクト進行の流れ>



完了済 | 農家への聞き取りから、大分の農場で本当に使えるロボット改良を実施



事業実施主体
(コンソーシアム構成員)

株式会社ASO(大分県別府市)、AGRIST株式会社(宮崎県児湯郡新富町)